

平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月13日

上場会社名 日本板硝子株式会社 上場取引所 東証一部・大証一部
 コード番号 5202 URL <http://www.nsg.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員兼CEO (氏名) 藤本 勝司
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 藤井 一光 TEL (03)-5443-9477

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	648,654	33.5	40,821	79.2	28,978	47.8	60,801	115.8
19年3月期第3四半期	485,941	154.3	22,778	226.3	19,601	121.3	28,169	386.9
19年3月期	681,547	—	23,822	—	8,001	—	12,095	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	90	97	85	47
19年3月期第3四半期	54	25	50	14
19年3月期	21	85	20	28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	1,417,534	415,291	28.4	601 68
19年3月期第3四半期	1,398,460	420,443	29.0	606 13
19年3月期	1,408,983	350,625	23.9	504 55

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	36,124	45,329	△78,415	123,201
19年3月期第3四半期	44,929	△251,042	144,962	132,474
19年3月期	75,379	△297,644	190,068	159,762

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
19年3月期	3	00	3	00	6	00
20年3月期(実績)	3	00	—			
20年3月期(予想)	—		3	00	6	00

3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

連結業績予想については、平成19年8月23日発表の業績予想から変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 連結業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場(日本、欧州、米州、アジア等)の経済環境及び製品需給の変動、為替相場及び金利の変動、主要原燃料価格の変動等があります。
2. 当社は重要な連結財務指標として、「ネット借入残高」(有利子負債－現金及び預金)を掲げております。平成18年6月のピルキントン社買収以降の推移は以下となっております。

	ネット借入残高
	百万円
19年3月期第1四半期	514,097
19年3月期第3四半期	431,844
19年3月期	400,203
20年3月期第3四半期	339,830

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 業績の背景

当期(平成19年4月1日から12月31日)において、日本では、燃料価格の高騰と世界的な金融収縮懸念から、先行きの不透明感が続いています。

西欧では景気の減速が続くなか、欧州全体で建築材料の価格下方圧力が強まる兆候が顕れています。東欧の新車生産は横ばいですが、欧州全体の補修用ガラスについては旺盛な市況が続いています。欧州でのゴムベルト用ガラス繊維とガラスフレークの需要は引き続き堅調でした。

北米経済は減速が続いており、住宅市場の落ち込みが商業ビル市場にも影響し始めました。新車生産は低調となっており、補修用ガラス市場も景気後退の悪影響を受け始めました。

当グループが事業展開しているその他の新興地域においては、事業環境は引き続き好調に推移しました。

情報電子分野では、世界のPC・携帯電話などの情報機器の出荷も、前年を上回る水準を持続しています。ガラス繊維分野では、欧州向けなど関連市場の需要が旺盛であります。

平成18年6月から当社の連結子会社となったピルキントン社の業績については、前年第2四半期より連結損益計算書に計上しております。

これにより当第3四半期業績は、売上高、利益ともに、前年同期比で大幅に上昇しております。

(2) 事業分野別業績概要

板ガラス事業は建築用ガラス事業(建築用途の外装及び内装用ガラス)と自動車用ガラス事業(自動車用のOEM及び補修用ガラス)からなります。当四半期においてグループ売上の約90%が当事業の売上でした。

①建築用ガラス事業

欧州では、今上半期では需要は高い水準にありましたが、第3四半期に入り減速が見られました。欧州の川下加工品事業では、ほとんどの市場で業績が向上しました。欧州委員会は、欧州の建築用ガラス部門の複数ガラスメーカーに対する調査に引き続き、当四半期において当グループに140百万ユーロ(約225億円)の過料を科す決定を発表しました。当グループの平成19年11月28日プレスリリースで公表した通り、過料は引当金として計上されており、本過料による連結損益計算書への影響はありません。平成20年1月31日開示の通り当グループは本決定について控訴しないことと致しました。

日本の売上高は前年をわずかに下回りました。建築基準法の改正による住宅市場の減速が続く、市況は引き続き軟調でした。損益は、前期の特殊要因(生産調整)がないことが主な理由で、前期比で改善しました。

北米では住宅市場が引き続き下落し、減収減益となりました。

南米では旺盛な市況を背景に事業は好調が続いており、東南アジアでは前年を上回る利益レベルとなりました。

この結果、建築用ガラス事業では売上高3,054億円、営業利益278億円となりました。

②自動車用ガラス事業

欧州のOEM用市場では、売上高・利益とも引き続き好調で、欧州補修用事業では前年対比増収増益となりました。

日本では、新車生産がほぼ横ばいに推移するなか、当社OEM売上高はほぼ横ばいに推移しました。

北米では、補修用事業は前年比で業績改善しましたが、OEM事業は市況低迷により前年比減益でした。その他の地域では利益で前年を上回りました。

この結果、自動車用ガラス事業では売上高は2,719億円、営業利益は175億円でした。

③機能性ガラス事業

機能性ガラス事業は情報電子分野(情報通信デバイス及びディスプレイ)及びガラス繊維分野からなっております。

情報電子分野においては、複合機能プリンター向けの光レンズや中小型液晶用ガラス基板などの主要製品の需要が堅調でした。この結果、売上高・利益ともに前年比増加しました。

ガラス繊維分野においては、欧州のゴムコード需要が引き続き旺盛であること等により売上高は前年同期比増加しました。この結果、機能性ガラス事業では売上高は615億円、営業利益は69億円でした。

④その他の事業

この分野は主に本社部門共通費及びエンジニアリング売上げが計上されておりますが、建築用ガラス事業、自動車用ガラス事業に含まれない小規模な事業も含まれています。当第3四半期はピルキントン社が全期間連結されているため、前年同期比では本社経費が増加し、損失は拡大しました。

この結果、その他の事業では売上高97億円、営業損失112億円を計上しました。

⑤持分法適用会社

グループの持分法適用会社の損益は連結損益計算書の営業外損益に含まれております。

ブラジルのCibrace社は今期業績好調で増益となり、ロシアのPilkington Glass Russia LLCも増益でした。

LCD基板事業のNHテクノグラス社は生産好調で、生産不調に見舞われた昨年に比べ大幅増益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

平成19年12月末の総資産は14,175億円となり、平成19年3月期末より85億円増加しました。

豪州事業売却による収入とピルキントン社買収にともなう借入金を削減する努力を継続し、ネット借入残高（有利子負債から現預金を控除したもの）は平成19年3月期末の4,002億円から3,398億円になりました。為替によるネット借入残高への影響は△46億円でした。総有利子負債は当四半期末で4,994億円となりました。

当四半期までの9ヶ月間でのキャッシュ・フローの概況については、営業活動によるキャッシュ・フローは堅調な事業業績により361億円のプラスになりました。投資活動によるキャッシュ・フローは453億円のプラスで、これは主に豪州事業の売却によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当グループは、中間決算開示時を除き、業績予想を定常的に見直すことはしておりません。

このため今回は通期予想の変更は致しません。

なお、東証開示基準に基づき業績予想に変更が生じる場合には適宜お知らせ致します。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

（有形固定資産の減価償却の方法の変更）

法人税法の改正に伴い、当期より、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。この変更の損益に与える影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増減	(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(資産の部)				
I 流動資産				
現金及び預金	133,992	159,615	25,623	160,914
受取手形及び売掛金	152,622	139,919	△12,703	148,584
たな卸資産	127,591	126,292	△1,299	113,259
その他	15,639	25,555	9,915	43,078
流動資産合計	429,846	451,382	21,535	465,836
II 固定資産				
有形固定資産	419,020	397,027	△21,993	396,586
無形固定資産	344,987	386,709	41,721	399,498
投資その他の資産	204,605	182,415	△22,189	147,062
固定資産合計	968,613	966,151	△2,461	943,146
資産合計	1,398,460	1,417,534	19,074	1,408,983
(資産の部)				
I 流動負債				
支払手形及び買掛金	132,669	82,683	△49,985	98,291
1年内償還予定の社債	—	10,000	10,000	—
短期借入金	190,944	98,811	△92,133	107,316
その他	77,042	214,577	137,534	231,981
流動負債合計	400,655	406,071	5,416	437,589
II 固定負債				
社債	43,000	33,000	△10,000	43,000
長期借入金	331,892	357,635	25,742	410,800
その他	202,468	205,536	3,067	166,967
固定負債合計	577,361	596,171	18,810	620,768
負債合計	978,016	1,002,242	24,226	1,058,358
(純資産の部)				
I 株主資本				
資本金	96,147	96,147	0	96,147
資本剰余金	105,289	105,291	2	105,289
利益剰余金	112,502	168,625	56,122	105,914
自己株式	△418	△534	△116	△450
株主資本合計	313,521	369,530	56,009	306,900
II 評価・換算差額等				
その他有価証券 評価差額金	24,743	12,863	△11,879	25,881
繰延ヘッジ損益	△5,396	741	6,138	△3,048
為替換算調整勘定	72,303	18,950	△53,353	7,507
評価・換算差額等合計	91,650	32,555	△59,094	30,340
III 新株予約権	16	243	227	26
IV 少数株主持分	15,255	12,961	△2,293	13,357
純資産合計	420,443	415,291	△5,152	350,625
負債、純資産合計	1,398,460	1,417,534	19,074	1,408,983

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増減	(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額 (百万円)	金額(百万円)
I 売上高	485,941	648,654	162,713	681,547
II 売上原価	328,509	441,939	113,430	478,700
売上総利益	157,431	206,715	49,283	202,846
III 販売費及び一般管理費	134,653	165,893	31,240	179,024
営業利益	22,778	40,821	18,042	23,822
IV 営業外収益	10,297	16,135	5,837	15,476
V 営業外費用	13,474	27,977	14,503	31,297
経常利益	19,601	28,978	9,377	8,001
VI 特別利益	48,719	50,594	1,875	51,555
VII 特別損失	14,799	2,048	△12,751	21,498
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	53,521	77,525	24,003	38,057
法人税、住民税及び 事業税	25,577	8,843	△16,734	28,068
法人税等調整額	△665	5,993	6,659	△5,063
少数株主利益	441	1,887	1,446	2,957
四半期(当期) 純利益	28,169	60,801	32,632	12,095

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年3月期)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	53,521	77,525	38,057
減価償却費	40,018	48,025	51,350
のれん償却額	—	7,829	8,316
減損損失	653	189	683
売上債権の減少額	11,747	12,403	6,206
たな卸資産の増減額	△5,744	△9,620	2,822
仕入債務の増減額	△3,189	△20,960	4,822
その他	△38,058	△34,040	△19,597
小計	58,949	81,351	92,661
利息及び配当金の受取額	2,465	10,201	9,925
利息の支払額	△12,174	△23,573	△19,277
法人税等の支払額	△4,311	△31,854	△7,930
営業活動によるキャッシュ・フロー	44,929	36,124	75,379
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
固定資産の取得による支出	△38,062	△33,574	△49,355
固定資産の売却による収入	10,359	2,519	12,822
有価証券の取得による支出	△275,884	△7,353	△321,723
有価証券の売却による収入	55,716	83,897	62,578
その他	△3,170	△159	△1,966
投資活動によるキャッシュ・フロー	△251,042	45,329	△297,644
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額	△33,348	△1,921	△2,474
長期借入金の増減額	182,170	△70,087	196,619
配当金の支払額	△3,079	△5,994	△3,029
その他	△780	△411	△1,046
財務活動によるキャッシュ・フロー	144,962	△78,415	190,068
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	14,465	△887	12,740
V 現金及び現金同等物の増減額	△46,684	2,151	△19,455
VI 現金及び現金同等物の期首残高	179,158	159,762	179,158
VII 資金範囲の変更による現金及び現金同等物の減少額	—	△38,711	—
VIII 新規連結子会社等の現金及び現金同等物の期首残高	—	—	59
IX 現金及び現金同等物の四半期末 (期末) 残高	132,474	123,201	159,762

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期（平成19年3月期第3四半期）

	建築用 ガラス事業 (百万円)	自動車用 ガラス事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	233,547	185,966	66,426	485,941	—	485,941
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	8,785	1,093	2,517	12,396	(12,396)	—
計	242,333	187,060	68,944	498,337	(12,396)	485,941
営業費用	227,996	178,911	68,664	475,571	(12,409)	463,162
営業利益	14,336	8,148	280	22,765	12	22,778

当四半期（平成20年3月期第3四半期）

	建築用 ガラス事業 (百万円)	自動車用 ガラス事業 (百万円)	機能性 ガラス事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	305,479	271,927	61,546	9,701	648,654	—	648,654
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,954	2,978	845	1,938	8,717	(8,717)	—
計	308,433	274,906	62,392	11,640	657,372	(8,717)	648,654
営業費用	280,592	257,384	55,480	22,920	616,378	(8,545)	607,833
営業利益（又は営業損失）	27,840	17,522	6,911	△11,280	40,993	(172)	40,821

(参考) 前期（平成19年3月期）

	建築用 ガラス事業 (百万円)	自動車用 ガラス事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	320,357	268,229	92,960	681,547	—	681,547
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,496	1,678	3,243	6,418	(6,418)	—
計	321,854	269,907	96,204	687,966	(6,418)	681,547
営業費用	305,374	256,868	101,808	664,050	(6,325)	657,725
営業利益（又は営業損失）	16,479	13,039	△5,603	23,915	(93)	23,822

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、連結財務諸表提出会社の売上集計区分によっています。

2. 事業区分に属する主要な製品名称

(前年同四半期・前期)

建築用ガラス事業 … 型板ガラス、フロート板ガラス、磨板ガラス、加工ガラス、建築材料、環境保全機器等
 自動車用ガラス事業 … 加工ガラス等
 その他の事業 … 光・ファインガラス製品、産業用ガラス製品、LCD製品等
 特殊硝子繊維製品、エアフィルタ関連製品等
 設備エンジニアリング、試験分析等

(当四半期)

建築用ガラス事業 … 型板ガラス、フロート板ガラス、磨板ガラス、加工ガラス、建築材料等
 自動車用ガラス事業 … 加工ガラス等
 機能性ガラス事業 … 光・ファインガラス製品、産業用ガラス製品、LCD製品、
 特殊硝子繊維製品、エアフィルタ関連製品、環境保全機器等
 その他の事業 … 設備エンジニアリング、試験分析等

3. 事業区分の変更

当期より、従来「その他の事業」に含めて表示していた「機能性ガラス事業」と「その他の事業」を区分表示しています。これは、当社事業の状況を見直した結果、当社グループの事業区分実態をより適切に反映し、事業の種類別セグメント情報の有効性を高めるために行うものであります。

なお、前年同四半期及び前期のセグメント情報を当四半期において用いた事業区分の方法により区分すると次のようになります。

前年同四半期 (平成19年3月期第3四半期)

	建築用 ガラス事業 (百万円)	自動車用 ガラス事業 (百万円)	機能性 ガラス事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	233,547	185,966	58,168	8,258	485,941	—	485,941
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	8,785	1,093	474	3,909	14,263	(14,263)	—
計	242,333	187,060	58,643	12,168	500,204	(14,263)	485,941
営業費用	227,996	178,911	53,512	17,030	477,450	(14,288)	463,162
営業利益 (又は営業損失)	14,336	8,148	5,130	△4,862	22,753	24	22,778

(参考) 前期 (平成19年3月期)

	建築用 ガラス事業 (百万円)	自動車用 ガラス事業 (百万円)	機能性 ガラス事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	320,357	268,229	78,674	14,286	681,547	—	681,547
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,496	1,678	603	5,061	8,840	(8,840)	—
計	321,854	269,907	79,277	19,348	690,388	(8,840)	681,547
営業費用	305,374	256,868	73,205	31,040	666,489	(8,764)	657,725
営業利益 (又は営業損失)	16,479	13,039	6,072	△11,692	23,898	(76)	23,822

〔所在地別セグメント情報〕

前年同四半期 (平成19年3月期第3四半期)

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	北米 (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	162,977	192,916	61,496	68,551	485,941	—	485,941
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	17,471	8,064	509	10,029	36,076	(36,076)	—
計	180,449	200,981	62,006	78,581	522,017	(36,076)	485,941
営業費用	179,193	186,588	61,865	71,498	499,145	(35,982)	463,162
営業利益	1,256	14,392	140	7,082	22,871	(93)	22,778

当四半期 (平成20年3月期第3四半期)

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	北米 (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	156,288	332,182	88,494	71,689	648,654	—	648,654
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	19,667	191,402	14,522	17,088	242,680	(242,680)	—
計	175,956	523,584	103,016	88,778	891,335	(242,680)	648,654
営業費用	172,834	494,035	103,242	80,507	850,619	(242,785)	607,833
営業利益 (又は営業損失)	3,121	29,549	△226	8,271	40,716	105	40,821

(参考) 前期 (平成19年3月期)

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	北米 (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	226,061	294,194	87,559	73,732	681,547	—	681,547
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	23,793	172,592	11,681	19,101	227,168	(227,168)	—
計	249,854	466,786	99,240	92,834	908,715	(227,168)	681,547
営業費用	249,445	451,111	98,359	85,984	884,900	(227,175)	657,725
営業利益	409	15,675	881	6,850	23,815	7	23,822

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。
 2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 欧州 …… イギリス、ドイツ、イタリア等
 北米 …… アメリカ、カナダ
 その他の地域 …… 南米、中国、マレーシア等